

鉄道安全運行に対する部外起因の倒木リスク低減について

○地権者との協議において、

これまでの事例(別紙1)より、

- ・事象が繰り返し発生し、ようやく具体的な対応が検討される。
- ・具体的な対応の実行についても、時間を要する。

○沿線近接木の管理において、

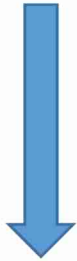
これまでの事例(別紙2)より、

- ・異常気象に伴う豪雨、強風の発生頻度が高まることにより、沿線近接木の伐採等の事前の対応が増えることが予想される。

これらを踏まえ、鉄道においても他のインフラと同様に用地外からの災害に対するリスクを軽減するための法整備をお願いしたい。

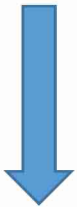
倒木による輸送障害(概要)

2017年7月、線路沿線にて用地外からの倒木が列車接触、約5時間の輸送障害発生



- 隣接用地を所有(管理)する関係自治体と協議
- 用地境界の確定、予算確保等に時間を要するため、関係自治体による迅速な対応は困難
- 線路最近接の関係自治体用地内樹木(一部)については、承諾を得てJRで自衛的に伐採
- 残りの危険木については、引き続き関係自治体による早期の伐採を要請

2018年3月、同箇所にて用地外からの倒木が列車接触、約4時間の輸送障害発生



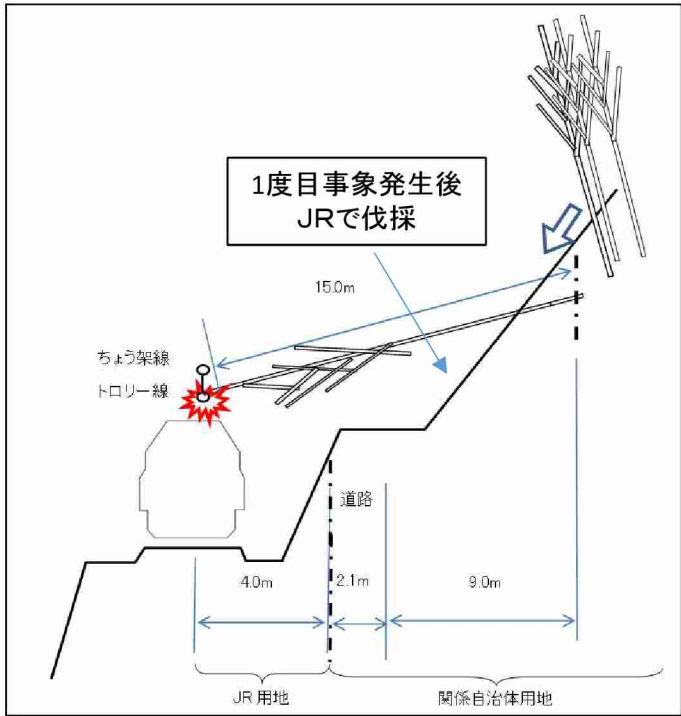
- 再度、関係自治体へ伐採要請
- 2020年度予算確保し伐採(JR受託)予定
- それまでの間、必要によりJRにて自衛的に伐採



2017年7月事象



2018年3月事象



台風15号被害状況(一覧)

被害状況(線区別)

線名	発生件数	うち部外用地
伊東線	3	1
内房線	5	4
久留里線	6	4
京浜東北線	2	1
相模線	1	1
尻手短絡線	1	1
常磐線	3	3
総武本線	4	4
外房線	20	6
中央急行線	3	1
中央線	1	0
東海道線	5	0
成田線	12	12
品鶴線	1	0
武蔵野線	2	2
山手線	2	2
横浜線	2	1
合計(17線区)	73	43

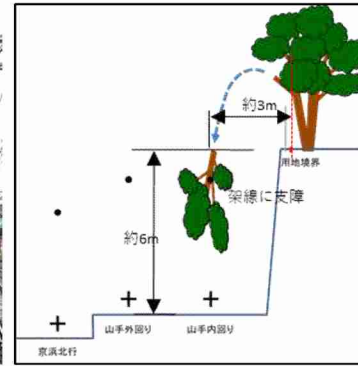


写真1 山手線 品川・大崎間

著作権保護のため非公開



写真2 久留里線 上総松丘・上総亀山間